

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 食品衛生対策実施要領(案)

1 趣旨

この実施要領は、「第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会食品衛生対策要項」に基づき、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会(以下「県委員会」という。)および会場地市町実行委員会(以下「会場地委員会」という。)が、相互に連絡調整を図り、滋賀県および会場地市町、関係機関・団体等とともに実施する食品衛生対策に関して必要な事項を定め、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ(以下「両大会」という。)における食品の安全性を確保することを目的とする。

2 実施内容

(1) 対象となる食品提供施設

ア 営業宿泊施設の調理施設

旅館業法の許可を受けた旅館・ホテルおよび簡易宿所営業施設(以下「営業宿泊施設」という。)において、宿泊する両大会の選手・監督、役員、視察員、報道員およびその他関係者(以下「両大会参加者」という。)が喫食する食事を調理する施設

イ 食事提供施設

両大会参加者が利用する営業宿泊施設において、施設内での食事提供ができない場合に斡旋する食事提供が可能な施設

ウ 仕出し料理調製施設

両大会参加者が宿泊施設等で喫食する仕出し料理(弁当)を調製する施設

エ 弁当調製施設

両大会参加者が開・閉会式会場および競技・練習会場等で喫食する弁当を調製する施設

オ 既設の食品営業施設

両大会会場内に既に設置され、食品の調理、加工もしくは製造または販売を行う施設

カ 臨時の食品営業施設

両大会会場内に臨時的に設置され、食品の調理、加工もしくは製造または販売を行う施設

キ 無料食品提供施設

ふるまいを目的として両大会会場内に臨時的に設置され、無償で飲食物を提供する施設

ク 弁当引換所

両大会会場内に設置される弁当の引換所

(2) 食品提供施設の把握

滋賀県健康医療福祉部生活衛生課(以下「県生活衛生課」という。)および保健所(大津市保健所を含む。以下同じ。)は、県委員会から次表のとおり提出される報告書等により、対象の食品提供施設を把握する。

また、県外の施設については、県委員会から関係自治体へ食品衛生指導の実施および報告書を依頼する。

対象施設	提出書類	提出方法
ア 営業宿泊施設の調理施設	営業宿泊施設利用予定報告書 (※宿舍衛生対策実施要領に定める様式第1号)	県委員会が県生活衛生課または大津市保健所へ提出する。 県生活衛生課は該当保健所または食品安全監視センターへ振り分ける。 令和6(2024)年9月末日まで ※提出後に追加・変更した場合には、速やかに追加・変更内容を提出する。
イ 食事提供施設	食事提供施設一覧表 (様式第1号)	
ウ 仕出し料理調製施設	仕出し料理調製施設一覧表 (様式第2号)	
エ 弁当調製施設	弁当調製施設名簿 (※弁当調達要項に定める様式第1号)	会場地委員会は県委員会へ提出し、県委員会が取りまとめて県生活衛生課または大津市保健所へ提出する。
オ 既設の食品営業施設	会場内に設置	県生活衛生課は該当保健所または食品安全監視センターに振り分ける。 令和6(2024)年9月末日まで ※提出後に追加・変更した場合には、速やかに追加・変更内容を提出する。
カ 臨時の食品営業施設		会場地委員会は県委員会へ提出し、県委員会が取りまとめて県生活衛生課または大津市保健所へ提出する。
キ 無料食品提供施設		県生活衛生課は該当保健所に振り分ける。
ク 弁当引換所		開催の概ね3か月前まで ※提出後に追加・変更した場合には、速やかに追加・変更内容を提出する。

(3) 監視指導

食品安全監視センターおよび保健所は、県委員会および会場地委員会と連携し、県生活衛生課、一般社団法人滋賀県食品衛生協会各支部の協力を得て、次表を目標に対象施設の監視指導を実施する。

対象施設	目標立入回数		指導事項
	両大会前	両大会期間中	
	令和6(2024)年度、食品提供施設の把握日以降～開催年度		
ア 営業宿泊施設の調理施設	会場内に設置	1～2回	必要に応じて
イ 食事提供施設			
ウ 仕出し料理調製施設			
エ 弁当調製施設			
オ 既設の食品営業施設	会場内に設置	-	必要に応じて
カ 臨時の食品営業施設			
キ 無料食品提供施設			
ク 弁当引換所			

(4) 食品衛生講習会

県委員会は、県生活衛生課および保健所と連携し、一般社団法人滋賀県食品衛生協会各支部の協力を得て、次により食品衛生講習会を実施する。また、会場地委員会においても、必要に応じて同様の講習会を実施することができる。なお、感染症予防を目的とした講習会や宿舍衛生講習会と併せて実施することができる。

ア 講習の内容

(ア) 食中毒の予防対策と発生時の対応

(イ) 従事者の健康管理(検便検査を含む。)と手洗いの徹底

(ウ) 施設・設備の衛生管理および食品・調理器具等の衛生的な取扱い

イ 受講対象者

対象となる食品提供施設の営業者、食品衛生責任者または代表者および関係者とする。

ウ 講習会の実施方法

原則として、令和6(2024)年度から両大会開催1か月前までに、上記受講対象者が1回以上受講できるよう、日程および会場の調整を行う。なお、県委員会および会場地委員会が主催する会議・説明会等と上記講習会を併せて実施するなど、計画的かつ効果的に実施する。

(5) 広報活動

県委員会は、県生活衛生課、保健所および会場地委員会と連携し、県、会場地市町、関係機関、団体等の協力を得て、必要に応じて、広報誌、ホームページ等の広報媒体を活用し、より一層の食品衛生に関する正しい知識の普及啓発を図る。

(6) 食中毒等健康被害発生時の対応

ア 県委員会および会場地委員会は、食中毒(疑いを含む。)の情報を入手した場合、直ちに発生場所を管轄する保健所に連絡し指示を受けるとともに、県生活衛生課に連絡する。なお、大津市実行委員会においては大津市保健所に連絡するものとする。

イ 両大会に関係して食中毒が発生したときは、県生活衛生課および保健所は滋賀県食中毒処理要領(大津市においては大津市食中毒等処理要領)に基づき速やかに対応するほか、県生活衛生課は県委員会および関係する会場地委員会に情報提供を行う。

(7) 緊急連絡体制の整備

県委員会および会場地委員会は、参加者等に食中毒患者が発生するなど、緊急の事案が発生した場合に備え、関係機関が迅速に対応できるよう、緊急時の連絡体制を別記のとおり整備する。

3 実施報告

(1) 監視指導

食品安全監視センターおよび保健所(大津市保健所を除く。)は、この実施要領に基づく食品衛生監視指導等の実施結果について、次表のとおり県生活衛生課に報告する。県委員会は県生活衛生課および大津市保健所に対し、上記の報告を速やかに県委員会に情報提供するよう依頼するものとする。

報告書様式	報告期限
食品関係施設の監視指導実施結果報告書(様式第7号) 施設等の検査結果報告書(様式第8号)	◆令和6(2024)年度中の実施結果 →令和7(2025)年3月末日まで ◆令和7(2025)年度中の実施結果 →ア～オの対象施設:令和7(2025)年 9月末日まで カ～クの対象施設:令和7(2025)年 10月末日まで

(2) 食品衛生講習会

会場地委員会は、この実施要領に基づく食品衛生講習会を実施した場合、その実施結果について、次表のとおり県委員会に報告し、県委員会は県委員会実施分と上記報告を合わせて、速やかに県生活衛生課に情報提供するものとする。

報告書様式	報告期限
食品衛生講習会の実施報告書(様式第9号)	◆令和6(2024)年度中の実施結果 →令和7(2025)年3月末日まで ◆令和7(2025)年度中の実施結果 →令和7(2025)年9月末日まで

4 その他

この実施要領に定めるもののほか、必要な事項は県委員会と県生活衛生課および保健所(大津市保健所を含む。)が協議の上、別に定めるものとする。

食事提供施設一覧表

保健所長 様

令和 年 月 日
〇〇実行委員会

<対象となる大会の区分>

わたSHIGA輝<国スポ
わたSHIGA輝<障スポ

宿泊施設

整理番号	施設名称(屋号)	施設所在地	営業者氏名 (法人名)	代表者連絡先	業種	宿泊施設	備考

※1 予定される最大の数量を記載のこと。

※2 複数の場合は次の行に続けて記載のこと。

仕出し料理調製施設一覧表

保健所長 様

令和 年 月 日

<対象となる大会の区分>

〇〇実行委員会

わたSHIGA輝く国スポ
わたSHIGA輝く障スポ

宿泊施設

整理番号	施設名称(屋号)	施設所在地	連絡先	営業者氏名 (法人名)	発注数量※1 (1日あたり)	仕出し料理配達先※2	備考

※1 予定される最大の数量を記載のこと。
 ※2 複数の場合は次の行に続けて記載のこと。

既設食品営業施設一覧表

保健所長 様

令和 年 月 日

<対象となる大会の区分>

〇〇実行委員会

わたSHIGA輝<国スポ
わたSHIGA輝<障スポ

会場地:

整理 番号	競技名	会場名	開催期間	施 設			業 種
				施設名称(屋号)	施設所在地	営業者氏名(法人名)	
			～				
			～				
			～				
			～				
			～				
			～				
			～				
			～				
			～				
			～				
			～				
			～				
			～				
			～				
			～				
			～				
			～				
			～				
			～				
			～				
			～				

臨時食品営業施設設置計画書

保健所長 様

令和 年 月 日

<対象となる大会の区分>

わたSHIGA輝<国スポ
わたSHIGA輝<障スポ

〇〇実行委員会

会場地： 〇〇競技場

整理番号	設置期間	施設の名称	営業者氏名 (法人名)	営業者住所 (法人所在地)	営業者連絡先	調理等の有無	取扱品目
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						

※ 施設ごとの内容を記載した個別票(様式第4号別紙)を添付すること。
 ※ 原則、客に提供する直前に加熱処理されない食品の調理行為は認めない。

臨時食品営業施設の内容(個別票)

整 理 番 号	
---------	--

1 臨時食品営業施設の名称等

名 称		設置期間	月 日 ~ 月 日
所 在 地			
営業許可番号			
営 業 者	氏 名		
	住 所		
	連絡先		
責 任 者 氏 名			
従 事 者 数			

2 取扱品目等

No.	取扱品目	調理等の有無	販売予定数量	No.	取扱品目	調理等の有無	販売予定数量
1		有・無		8		有・無	
2		有・無		9		有・無	
3		有・無		10		有・無	
4		有・無		11		有・無	
5		有・無		12		有・無	
6		有・無		13		有・無	
7		有・無		14		有・無	

※営業許可証の写しを添付すること。

臨時食品営業施設の内容(個別票)

整 理 番 号	記入例
---------	-----

1 臨時食品営業施設の名称等

名 称	〇〇〇〇	設置期間	〇月〇日 ~ 〇月〇日
会 場 地	〇〇競技場		
営業許可番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
営 業 者	氏 名	〇〇 〇〇	
	住 所	〇〇市〇〇〇1-1-1	
	連絡先	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
責 任 者 氏 名	〇〇 〇〇		
従 事 者 数	〇人		

2 取扱品目等

No.	取扱品目	調理等の有無	販売予定数量	No.	取扱品目	調理等の有無	販売予定数量
1	唐揚げ	有	500食	8		有・無	
2	牛串焼き	有	500食	9		有・無	
3	ジュース	無	500本	10		有・無	
4	コーヒー	無	200本	11		有・無	
5		有・無		12		有・無	
6		有・無		13		有・無	
7		有・無		14		有・無	

※営業許可証の写しを添付すること。

無料食品提供施設設置計画書

保健所長 様

令和 年 月 日
 ○○実行委員会

<対象となる大会の区分>

わたSHIGA輝く国スポ
わたSHIGA輝く障スポ

会場地： ○○競技場

整理番号	設置期間	施設の名称	代表者の氏名	代表者の住所 (法人の所在地)	代表者連絡先	調理等の有無	取扱品目
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						
	～						

※ 施設ごとの内容を記載した個別票(様式第5号別紙)を添付すること。
 ※ 原則、客に提供する直前に加熱処理されない食品の調理行為は認めない。

無料食品提供施設の内容(個別票)

整 理 番 号	
---------	--

1 無料食品提供施設の名称等

名 称		設置期間	月 日 ~ 月 日
所 在 地			
代 表 者	氏 名		
	住 所		
	連 絡 先		
責 任 者 氏 名			
従 事 者 数			

2 取扱品目等

No.	取扱品目	調理等の有無	提供予定数量	No.	取扱品目	調理等の有無	提供予定数量
1		有・無		8		有・無	
2		有・無		9		有・無	
3		有・無		10		有・無	
4		有・無		11		有・無	
5		有・無		12		有・無	
6		有・無		13		有・無	
7		有・無		14		有・無	

無料食品提供施設の内容(個別票)

整 理 番 号	記入例
---------	-----

1 無料食品提供施設の名称等

名 称	〇〇〇〇	設置期間	9月28日 ~ 10月8日
所 在 地	〇〇競技場		
代 表 者	氏 名	〇〇 〇〇	
	住 所	〇〇市〇〇〇1-1-1	
	連 絡 先	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
責 任 者 氏 名	〇〇 〇〇		
従 事 者 数	〇人		

2 取扱品目等

No.	取扱品目	調理等の有無	提供予定数量	No.	取扱品目	調理等の有無	提供予定数量
1	豚汁	有	500食	8		有・無	
2		有・無		9		有・無	
3		有・無		10		有・無	
4		有・無		11		有・無	
5		有・無		12		有・無	
6		有・無		13		有・無	
7		有・無		14		有・無	

弁当引換所設置計画書

保健所長 様

令和 年 月 日
実行委員会

会場地： ○○競技場

<対象となる大会の区分>

	わたSHIGA輝<国スポ
	わたSHIGA輝<障スポ

整理番号	設置期間	競技名	会場名	引換箇所数	弁当の概数	弁当調製施設				納入責任者氏名
						施設の名称	施設の所在地	営業者	連絡先	
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									
	～									

食品関係施設の監視指導実施結果報告書

令和 年 月 日

〇〇〇〇 保健所

区分	対象施設数	延べ監視施設数	違反発見施設数	違反の件数					処分件数			処分以外の措置件数		
				施設基準	管理運営基準	製造基準	表示基準	その他	営業の禁停止	改善命令	その他			
ア	営業宿泊施設の調理施設													
イ	食事提供施設													
ウ	仕出し料理調製施設													
エ	弁当調製施設													
オ	(会場内)	既設の食品営業施設												
カ		臨時の食品営業施設												
キ		無料食品提供施設												
ク		弁当引換所												
合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

施設等の衛生状況確認検査結果報告書

〇〇〇 保健所

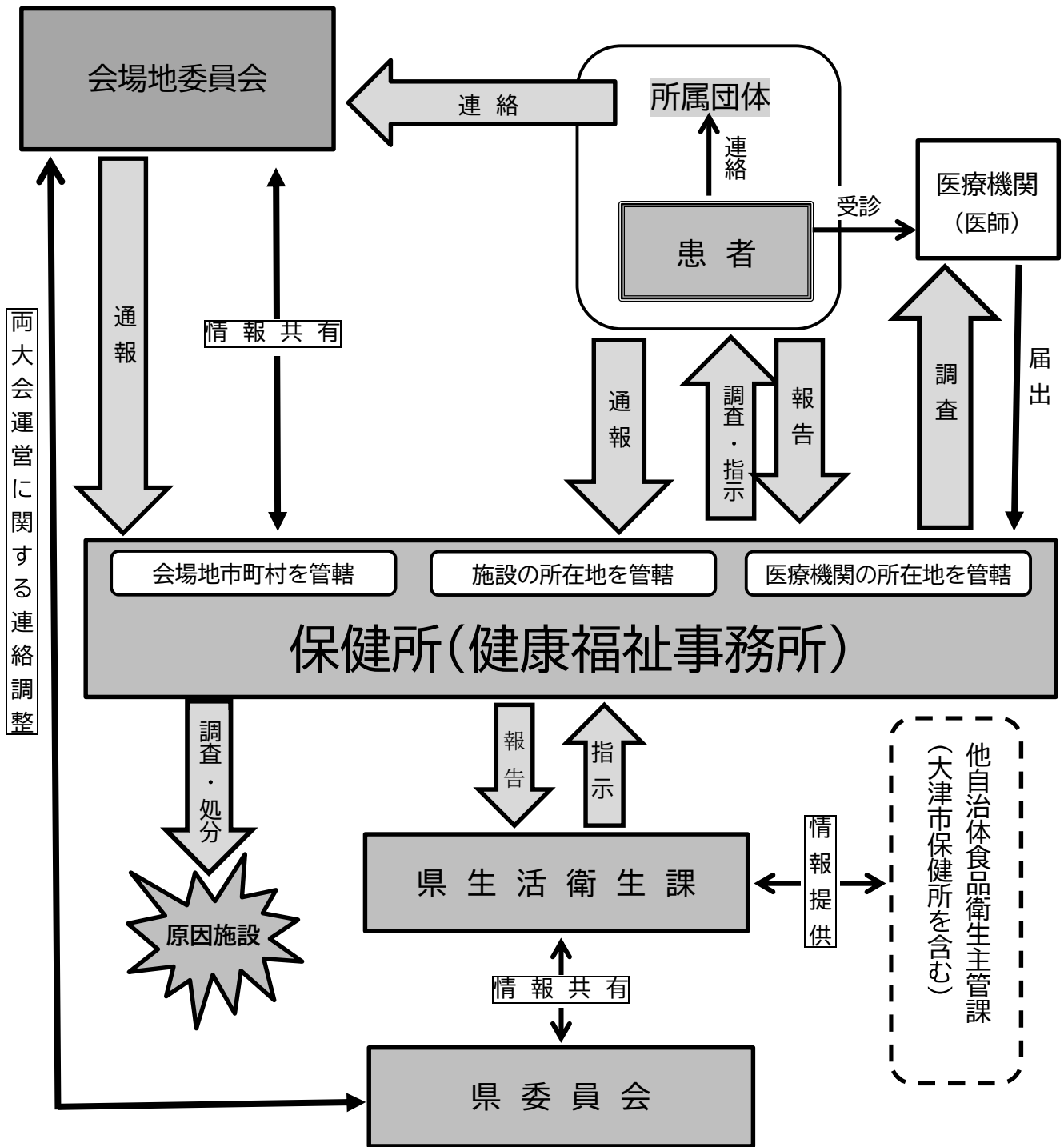
区分		対象施設数	検査施設数	ATP検査件数
ア	営業宿泊施設の調理施設			
イ	食事提供施設			
ウ	仕出し料理調製施設			
エ	弁当調製施設			
オ	(会場内)	既設の食品営業施設		
カ		臨時の食品営業施設		
キ		無料食品提供施設		
ク		弁当引換所		
合計		0	0	0

食品衛生講習会の実施報告書

令和 年 月 日
 実行委員会

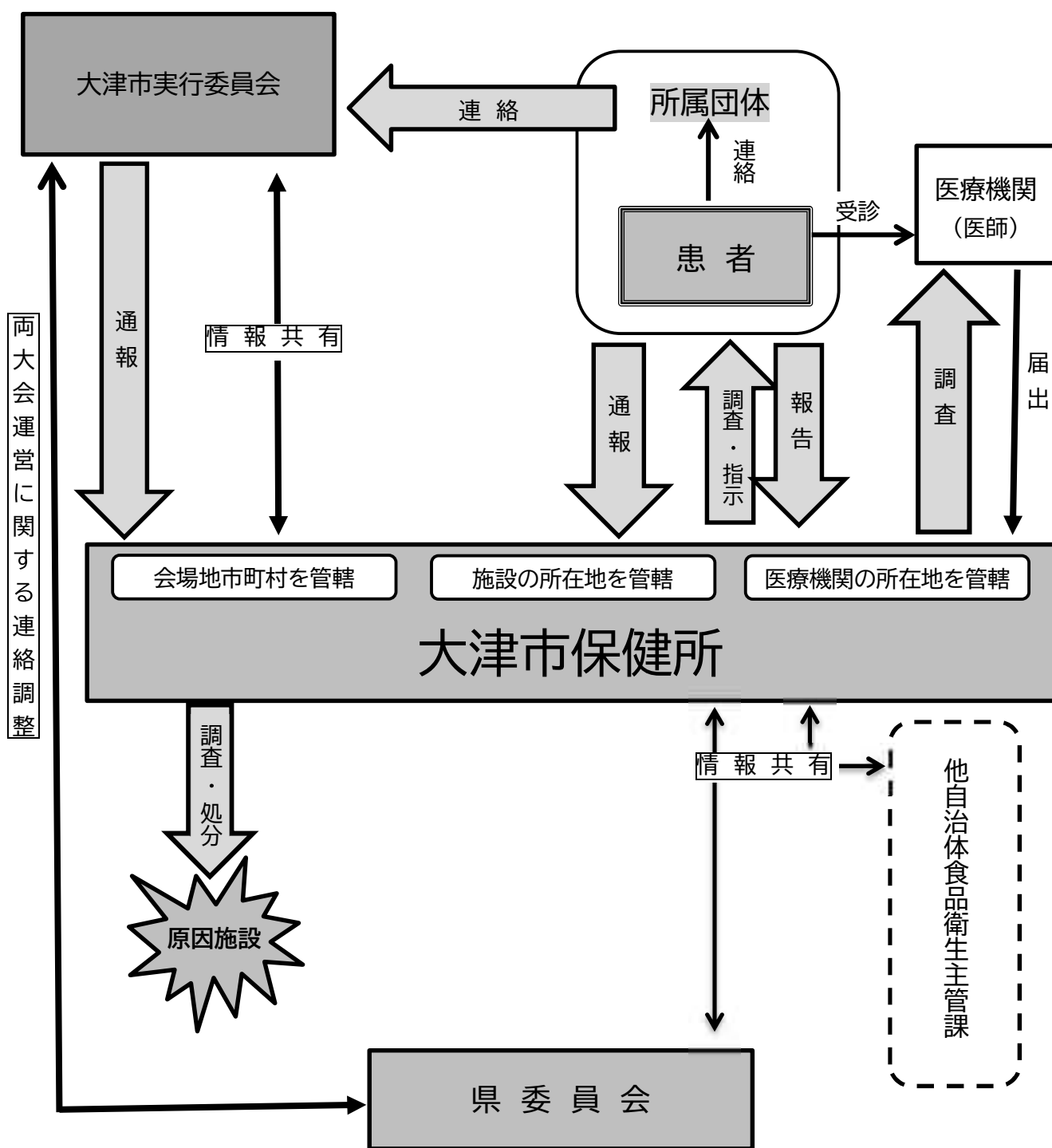
番号	開催日	講習 時間	講習会の名称	主催者	対象者	参加 人数	開催場所	備考

食中毒等健康被害発生時の緊急連絡体制(大津市を除く滋賀県)



- ◆患者所属団体は、直ちに管轄保健所へ通報するとともに会場地委員会に連絡する。
- ◆会場地委員会は、上記連絡のほか実施本部等を通して食中毒に関する情報を得た場合は、直ちに管轄の保健所へ通報する。
- ◆大会関係者に対して、食中毒が疑われる情報を入手した場合、速やかに患者を医療機関に受診させるとともに、管轄の保健所に通報するように周知する。

食中毒等健康被害発生時の緊急連絡体制(大津市)



- ◆患者所属団体は、直ちに大津市保健所へ通報するとともに大津市実行委員会に連絡する。
- ◆大津市実行委員会は、上記連絡のほか実施本部等を通して食中毒に関する情報を得た場合は、直ちに大津市保健所に通報する。
- ◆大会関係者に対して、食中毒が疑われる情報を入手した場合、速やかに患者を医療機関に受診させるとともに、大津市保健所に通報するように周知する。

食中毒等健康被害発生時の連絡先一覧

保健所	所在地	連絡先 (食中毒担当係)	管轄地域
草津保健所	〒525-3525 草津市草津三丁目 14-75	TEL:077-562-3549 FAX:077-562-3533	草津市、栗東市、守山市、野洲市
甲賀保健所	〒528-8511 甲賀市水口町水口 6200	TEL:0748-63-6149 FAX:0748-63-6142	甲賀市、湖南市
東近江保健所	〒527-0023 東近江市八日市緑町 8-22	TEL:0748-22-1266 FAX:0748-22-1617	近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町
彦根保健所	〒522-0039 彦根市和田町 41	TEL:0749-21-0284 FAX:0749-26-7540	彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
長浜保健所	〒526-0033 長浜市平方町 1152-2	TEL:0749-65-6664 FAX:0749-63-2989	長浜市、米原市
高島保健所	〒520-1621 高島市今津町今津 448-45	TEL:0740-22-3552 FAX:0740-22-5693	高島市
大津市保健所 (衛生課)	〒520-0047 大津市浜大津四丁目 1-1	TEL:077-522-8427 FAX:077-522-7373	大津市

◆県担当課および実行委員会

担当部署	所在地	連絡先
滋賀県健康医療福祉部生活衛生課	〒520-8577 大津市京町四丁目 1-1	TEL:077-528-3643 FAX:077-528-4861
滋賀県国スポ・障スポ大会局 施設調整室 宿泊・衛生係	〒520-0807 大津市松本一丁目 2-1	TEL:077-528-3286 FAX:077-528-4836

食品提供施設の営業者等が遵守すべき事項

両大会に係る食品提供施設の営業者等は、法令に基づく衛生管理を徹底の上、次の事項について遵守すること。

1 食品提供施設

- (1) 営業宿泊施設の調理施設
両大会参加者を宿泊させ、当該宿泊者が喫食する食事を調理する施設
- (2) 食事提供施設
両大会参加者が利用する営業宿泊施設において、施設内での食事提供ができない場合に斡旋する食事提供が可能な施設
- (3) 仕出し料理調製施設
両大会参加者が宿泊施設等で喫食する仕出し料理(弁当)を調製する施設
- (4) 弁当調製施設
両大会参加者が開・閉会式会場、競技・練習会場等で喫食する弁当を調製する施設
- (5) 既設の食品営業施設
両大会会場内に既に設置され、食品の調理、加工若しくは製造または販売を行う施設
- (6) 臨時の食品営業施設
両大会会場内に臨時的に設置され、食品の調理、加工若しくは製造または販売を行う施設
- (7) 無料食品提供施設
ふるまいを目的として両大会会場内に臨時的に設置され、無償で飲食物を提供する施設
- (8) 弁当引換所
両大会会場内に設置される弁当の引換所

2 共通の遵守事項

- (1) 衛生管理状況の点検・記録
 - ア 両大会開催期間中、食品衛生責任者等(食品衛生責任者および下記4、5により設置する管理責任者をいう。以下同じ。)は、施設の衛生管理計画に基づく記録表の他に以下の記録表により衛生管理状況を点検し記録すること。
 - (ア) 食品衛生自主管理記録表[営業宿泊施設の調理施設・食事提供施設・既設の食品営業施設](参考様式第1号)
 - (イ) 食品衛生自主管理記録表[弁当・仕出し料理調製施設](参考様式第2号)
 - (ウ) 食品衛生自主管理記録表[臨時の食品営業施設・無料食品提供施設](参考様式第3号)
 - (エ) 食品衛生自主管理記録表[弁当引換所](参考様式第4号)
 - イ 食品衛生責任者等は、食品衛生講習会を受講すること。
- (2) 調理従事者等の健康管理
 - ア 調理従事者(食品に直接接触する作業に従事する者。以下同じ。)は、概ね両大会開催前1か月の間に検便を受け、食品により媒介される可能性のある病原体(赤痢菌、サルモネラ属菌、腸管出血性大腸菌等)の感染の有無を確認すること(1 食品提供施設(8) 弁当引換所を除く)。なお、検査項目については、赤痢菌、サルモネラ属菌、腸管出血性大腸菌については必須とし、必要に応じてノロウイルスの検便検査を行うこと。

- イ 上記検便結果で陽性の場合、再検査で陰性を確認するまでは、食品に直接接触する作業に従事させないこと。
- ウ 食品衛生責任者等は、作業開始前に全ての調理従事者等(調理従事者および配膳または容器包装に入れられた食品を取り扱う作業に従事する者。以下同じ。)および同居する家族等の健康状態(嘔吐、下痢、手指の傷等)の確認を行うこと。
- エ 下痢、嘔吐、発熱等の症状がある場合や、手指に化膿創がある場合は、食品に直接接触する作業に従事させないこと。
- オ 調理従事者は、感染を防止するため、日常生活の中で胃腸炎症状を呈した者の吐物や排泄物の処理を行うことを避けること。

(3)調理従事者等の服装

- ア 調理従事者等は、清潔な外衣および専用の履物を着用し、必要に応じて帽子、マスク、手袋を着用すること。
- イ 調理従事者等は、腕時計、指輪、つけ爪などは外す。帽子は毛髪がはみ出ないように着用し、爪は短く清潔に保つこと。

(4)手洗いの徹底

- ア 石けん、消毒液、ペーパータオル等を備えた手洗い設備を常に使用できる状態にしておくこと。
なお、手洗い設備は、手を触れずに給水栓が開閉できる構造であること。また、40℃前後の温水が給水される構造であることが望ましい。
- イ 調理従事者等は、次のタイミングで手洗いを行うこと。
 - (ア)作業開始前およびトイレの使用後
 - (イ)汚染作業区域から非汚染作業区域に移動する場合
 - (ウ)食品に直接触れる作業に当たる直前
 - (エ)生肉、鮮魚介類、卵殻等に触れた後、その他の食品や器具に触れる場合
 - (オ)配膳の前
- ウ 調理従事者等は、次の手順を参考に、適切な方法で手洗いを行うこと。
 - (ア)手を水で濡らし、石けんをつける。
 - (イ)指、腕を洗う。特に、指の間、指先をよく洗う。(30秒程度)
 - (ウ)石けんをよく洗い流す。(20秒程度)
 - (エ)使い捨てペーパータオル等でふく。(タオル等の共用はしないこと。)
 - (オ)消毒用アルコールをかけて手指によくすりこむ。

※作業開始前およびトイレの使用後は、(ア)～(ウ)の手順を2回繰り返す。

3 食品提供施設(1)～(5)に対する個別の遵守事項

(1)施設(調理場)の衛生管理

- ア 施設およびその周辺は、定期的に清掃し、清潔な状態を維持すること。
- イ 施設内は整理整頓し、不必要な物品等を置かないこと。
- ウ 施設の内壁、天井、床を清潔に維持するとともに、破損等があるときは速やかに補修すること。
- エ 施設内の採光・照明・換気は十分に行い、必要に応じて温湿度管理を行うこと。
- オ 窓および出入口は、開放したままにしないこと。開放したままにする場合は、網戸等を設置し、埃、ねずみ、昆虫等の侵入を防止すること。
- カ 排水溝は、排水が適切に行われるよう清掃、補修すること。
- キ トイレは、定期的に清掃、消毒を行い、常に清潔にすること。

(ア)従事者用トイレの便器、床の消毒

1,000mg/L次亜塩素酸ナトリウム液またはこれと同等の効果を有する方法で消毒すること。

(2)設備等(設備、調理機械・器具)の衛生管理

- ア 調理機械・器具は、十分に洗浄・消毒するとともに、衛生的に保管すること。調理器具、食器等は、80℃、5分間以上またはこれと同等の効果を有する方法で消毒すること(参考 厚生労働省「大量調理施設衛生管理マニュアル」)。
- イ 調理機械・器具に、故障または破損がある場合は、速やかに補修すること。
- ウ 手洗い設備には、石けん、消毒液、ペーパータオル等を備え、常に使用できる状態にしておくこと。
- エ 手指が触れる場所(給水栓、冷蔵庫取っ手、スイッチボタン、ドアノブ等)は、十分に清掃し、清潔を保つこと。200mg/L 次亜塩素酸ナトリウム液またはこれと同等の効果を有する方法で消毒すること。
- オ まな板、包丁、ふきん等は、よく洗浄・消毒され、食品および用途ごとに区分して使用すること。
- カ 冷蔵庫および冷凍庫内は、整頓し、清潔に保ち、相互汚染防止のため区分け保存をすること。
- キ 冷蔵庫および冷凍庫は、温度管理を十分に行うこと。

(3)使用水の管理

- ア 水道水以外の水を使用する場合は、事前(国スポ・障スポ開催前の1年以内を目途)に水質検査を受け、基準に適合していることを確認すること。
- イ 滅菌装置を設置している場合は、装置が正常に作動しているか定期的に確認するとともに、遊離残留塩素濃度が適正であることを確認すること。

(4)食品の取扱い

施設の衛生管理計画に基づき、適切に管理および記録を実施すること。なお、衛生管理の実施に当たっては、特に以下の項目に留意すること。

- ア 原材料の仕入れに当たっては、品質・表示等について点検するとともに、当該食品に適した状態および方法で衛生的に保管すること。また、購入伝票等の保管を行い、仕入先を明らかにしておくこと。
- イ 調理済み食品は、前日調理は避け、提供までの時間をできるだけ短くするよう調理計画を立て、調理後、直ちに提供されるもの以外の食品は、食中毒菌の増殖を抑制するため必要に応じて冷蔵または温蔵保管すること(食中毒菌の発育至適温度帯である 20～50℃を避け、概ね 10℃以下または 65℃以上で管理)。
- ウ 調理は、相互汚染のないよう衛生的に行うこと。
- エ 生肉(たたき、湯引きを含む。)の提供をしないこと。
- オ 野菜および果物を、加熱せずに提供する場合には、飲用適の流水で十分洗浄し、必要に応じて次亜塩素酸ナトリウムの 200mg/L の溶液に、5分間(100mg/L の溶液の場合には 10 分間)またはこれと同等の効果を有するもの(食品添加物として使用できる有機酸等)で殺菌を行った後、十分な流水ですすぎ洗いを行うこと。
- カ 加熱調理を行う際は、食品の中心部の温度が 75℃以上で、1分間以上(ノロウイルスによる汚染の可能性のある食品の場合は 85～90℃で 90 秒以上)加熱すること。加熱温度は、中心温度計により確認すること。
- キ 盛り付けは衛生手袋等を使用し、食品に直接手が触れないようにすること。また、衛生手袋の使用に当たっては、装着前の手洗い、衛生的な装着操作、装着後に食品以外に触れないことおよび適宜交換することを徹底すること。

ク 同一メニューで50食以上提供する食品については、検食は調理済みの食品を食品ごとに 50g以上ずつ清潔な容器に入れ、-20℃以下で2週間以上保存すること。同一内容の食品を1回300食以上または1日750食以上調理する場合は、前記の規定による保存のほかに、当該食品の原材料ごとに50g以上ずつ清潔な容器に入れ、-20℃以下で2週間以上保管すること。

【例】

- ・弁当(仕出し料理)の場合、1食分を余分に調製し、容器ごと検食として保管する。
- ・仕切りの入った検食容器がない場合は、未使用の合成樹脂製の袋で代用する。
(1品毎に袋に入れて口をしぼる。1食分をまとめて袋に入れて口をしぼる。)

ケ 仕出し料理および弁当の調製(1 食品提供施設(3)、(4))

(ア)仕出し料理および弁当の主食および副食は、十分に放冷した後、詰め合わせる。

(イ)次の事項を弁当の容器包装に表示すること。

名称、原材料名(アレルゲン、遺伝子組換え等の表示を含む)、食品添加物、消費期限(時刻まで)、保存方法、製造所所在地・製造者名等食品表示法で規定している事項

(ウ)早期の喫食を喚起する旨、弁当の容器包装または添付チラシ等に記載するよう努めること。

(エ)配送に当たっては、次の事項に留意し、弁当の温度を10℃以下で管理すること

- ・荷室の温度管理(10℃以下)が、運転席等外部から行うことが可能な冷蔵車等を使用し運搬すること。
- ・保冷箱等により輸送する場合は、直射日光が当たらないように運搬し、輸送前後の保冷箱等内の温度を測定し、一定であることを確認すること。
- ・弁当の配付終了まで会場内に待機し、同様に適切な温度管理(10℃以下)、衛生管理を行うこと。
- ・弁当引換所で長時間保管されることがないように喫食時間に合わせて納品すること。
- ・通気性が良く、かつ搬送が容易で清潔な段ボール箱等に梱包して弁当を納品すること。

(5)廃棄物の処理

ア 廃棄物容器は、蓋があり、汚液または汚臭がもれないよう清潔にしておくこと。

イ 廃棄物は、食品等を取扱い、保管する場所に置かないこと。

ウ 清掃用具は専用の場所に保管すること。

(6)記録の作成および保管

食品衛生責任者は、施設の衛生管理計画に基づく記録の他に以下の記録を作成し、整理して保管すること。

ア 衛生管理

「衛生管理記録表」(参考様式第5号)および「調理従事者等の健康状況」(参考様式第6号)

イ 提供したメニュー

ウ その他次の事項

(ア)調理従事者等および家族等同居者の健康状況

(イ)水道水以外の水を使用している場合の遊離残留塩素濃度

(ウ)その他

4 食品提供施設(6)、(7)に対する個別の遵守事項

(1)取扱品目

取扱品目は、原則として、完成品、半完成品若しくは下処理された食品を調理、盛り付けしたもの

であって、かつ、作業工程が「揚げる」「焼く」「蒸す」「煮る」などの加熱工程(調味料を使用する工程は除く)により調理された食品とする。ただし、以下に掲げるものは認める。

- ① かき氷(果物氷、味付き氷(削りイチゴ、台湾かき氷等)等水以外の原材料を含む氷を使用するものは除く)
- ② クリーム類(ソフトクリーム、生クリーム等)(既製品の盛付のみ)
- ③ 飲料水類(既製品の注ぎ分けのみ)

(2)適切な取扱設備

- ア 清浄な場所に設置し、テント張等適当な防塵・防水設備を有すること。
- イ 食品が直接日光にあたらない設備とすること。
- ウ 消毒液を備えた流水式手洗い設備を設けること。ただし、施設の周辺に当該設備がある場合は、この限りではない。
- エ 取り扱う食品の保存方法により、冷凍庫・冷蔵庫等保存設備を設けること。

(3)食品の取扱い

- ア 下処理は、食品衛生法に基づき適切な許可、届出等のある施設(以下「許可施設等」とする。)で行うこと。ただし、やむを得ず許可施設以外の施設を使用する場合は、会場周辺にある公的に使用できる調理室等であって、大会期間中専用で使用でき、食材を衛生的に取り扱うことができる施設で行うこと。
- イ 原材料の運搬は、下処理を行った食材を衛生的な蓋付きの容器等に入れ外部からの汚染を防止するとともに、食品に応じて温度管理を適切に行うこと。
- ウ 加熱調理を行う際は、食品の中心部まで十分に(75℃以上で1分間以上)(ノロウイルスによる汚染の可能性のある食品の場合は 85～90℃で 90 秒)加熱すること。
- エ 未加熱の野菜、果物、肉類、魚介類、卵および乳類を提供しないこと。
- オ 購入後会場内で速やかに喫食できる提供方法とすること。
- カ 容器は使い捨てで、かつ衛生的なものを使用すること。

(4)廃棄物の処理

- ア 廃棄物は、処理方法に応じて分別し、適正に処理すること。
- イ 廃棄物容器およびその周辺は、常に清潔にしておくこと。

(5)管理責任者の設置

- ア 食品による事故等の発生を防止するために、施設ごとに衛生管理に当たる管理責任者(露店営業施設については食品衛生責任者)を設置すること。

5 食品提供施設(8)に対する個別の遵守事項

(1)弁当引換所の設置基準

- ア 清浄な場所に設置し、テント張等適当な防塵・防水設備を有すること。
- イ 弁当を直射日光のあたらない場所に保管・陳列できる設備とすること。
- ウ 弁当引換所の設置者は、弁当引換所または付近の使用しやすい場所に、手洗い設備を確保すること。弁当引換所に確保できない場合は、アルコール噴霧式消毒器を弁当引換所に設置すること。

(2) 弁当の取扱い

ア 弁当の保管

(ア) 納品された弁当は、引換直前まで 10℃以下の保冷库等で保管すること(弁当引換所に隣接した場所に、保冷車等を配置している場合を含む)。

(イ) 保冷库は常に清潔に保つとともに、隔測温度計を設置し、保冷機能が保たれていることを確認すること。

イ 弁当の引渡し

(ア) 弁当の引換時間を厳守すること。

(イ) 弁当を両大会参加者に引き渡す際の呼びかけ、張り紙、場内放送、チラシ添付等の方法により、早期の喫食と併せて持ち帰りの禁止を呼びかけること。

ウ 弁当の廃棄

消費期限を過ぎた弁当は確実に廃棄すること。

(3) 弁当の引換えの記録

ア 弁当の引換えに当たっては、引換え先と弁当調製施設の関連が明確になるようにしておくこと。

イ 弁当引換所ごとに衛生管理に当たる管理責任者をおくこと。

ウ 管理責任者は、弁当の納品から引換えに関する次の事項について「弁当の引換記録表」(参考様式第7号)により記録すること。

(ア) 弁当の納品時刻

(イ) 庫内温度(納品時、引換え直前)

(ウ) 納品個数

(エ) 製造者

(オ) 消費期限

(カ) 弁当の引換え時刻(開始、終了)

(キ) 引換え個数

(ク) 引換え先

(ケ) 廃棄時刻

(コ) 廃棄個数

(4) 廃棄物の処理

ア 廃棄物は、処理方法に応じて分別し、適正に処理すること。

イ 廃棄物容器およびその周辺は、常に清潔にしておくこと。

食品衛生自主管理記録表 [営業宿泊施設の調理施設・食事提供施設・既設の食品営業施設]

大会期間中は毎日点検しましょう。

定期的に○、×のチェックを行い、×の項目はすぐに改善しましょう。(○良好、×不良)

点検項目		点検月日							メモ
		/	/	/	/	/	/	/	
施設の衛生管理	1	施設およびその周辺は清掃され、清潔な状態か。							
	2	施設内は整理整頓され、 unnecessaryな物品が置かれていないか。							
	3	施設の内壁、天井、床は、清潔で、破損はないか。							
	4	施設内の採光、照明、換気は十分か。 温度(25℃以下)、湿度(80%以下)は適切か。							
	5	窓や出入口を開放していないか。開放する場所には、網戸等を設置しているか。							
	6	排水溝は清掃され、排水が適切に行える状態か。							
	7	トイレは清掃、消毒され、清潔か。手洗い設備は使用できる状態か。							
設備等の衛生管理	8	機械器具は、十分洗浄、消毒するとともに、衛生的に保管されているか。また、破損等があるときは速やかに補修しているか。							
	9	機械器具は、用途に応じて適切に使用しているか。まな板、包丁等は使い分けているか。							
	10	手洗い設備は、石けん、消毒液、タオルペーパー等を備え、使用できる状態か。							
	11	冷蔵庫・冷凍庫内は清潔か。また、適切な温度(冷蔵庫10℃以下、冷凍庫-20℃以下)が保たれているか。							
使用水	12	水道水以外の水(井戸水等)を使用している場合は、水質検査を実施したか。							
	13	殺菌装置等が設置されている場合は、正常に作動しているか。							
防鼠虫	14	ネズミ、ゴキブリ等の侵入、発生はないか。侵入、発生している場合は駆除等の対策を実施しているか。							
廃棄物	15	廃棄物容器は、汚液、汚臭が漏れないよう清潔にしているか。							
	16	廃棄物を、食品を取扱い、保存する場所に保管していないか。							
従事者の衛生管理	17	定期的に健康診断(検便等)を受けているか。							
	18	下痢・嘔吐・発熱または手指に化膿創のある者が直接食品に触れる業務に従事していないか。							
	19	清潔な作業着、帽子、履物を着用し、必要に応じてマスク、手袋をしているか。							
	20	爪を短く切り、作業前、用便後等は必ず手を洗っているか。							
原材料および食品の取扱い	21	衛生管理計画に基づき作業を実施し、記録しているか。							
	22	原材料の仕入れに当たっては、品質、表示等の点検を行った後、食品に適した温度で衛生的に保管しているか。							
	23	購入伝票等の保管を行っているか。							
	24	相互汚染のないよう取り扱っているか。							
	25	生で提供する野菜、果物等は十分洗浄し、必要に応じて殺菌しているか。							
	26	食品は、中心部まで十分加熱しているか。(75℃1分以上)							
	27	盛付時は、手袋を使用する等食品に直接手が触れないようにしているか。							
	28	必要以上に作り置きせず、調理後、速やかに提供しているか。保管する場合は、10℃以下または65℃以上で保管しているか。							
	29	検査は、適切に保管しているか。(各50g、-20℃以下、2週間以上)							
食品衛生責任者の印									

◆実行委員会や保健所等が行う衛生講習会を受講し、講習の内容に従事者に伝達すること。

◆提供した食品が原因と疑われる健康被害が発生した場合は、速やかに保健所に報告すること。

食品衛生自主管理記録表 [弁当調製施設・仕出し料理調製施設]

大会期間中は毎日点検しましょう。

定期的に○、×のチェックを行い、×の項目はすぐに改善しましょう。(○良好、×不良)

点検項目		点検月日							メモ
		/	/	/	/	/	/	/	
施設の衛生管理	1	施設およびその周辺は清掃され、清潔な状態か。							
	2	施設内は整理整頓され、不必要な物品が置かれていないか。							
	3	施設の内壁、天井、床は、清潔で、破損はないか。							
	4	施設内の採光、照明、換気は十分か。 温度(25℃以下)、湿度(80%以下)は適切か。							
	5	窓や出入口を開放していないか。開放する場所には、網戸等を設置しているか。							
	6	排水溝は清掃され、排水が適切に行える状態か。							
	7	トイレは清掃、消毒され、清潔か。手洗い設備は使用できる状態か。							
設備等の衛生管理	8	機械器具は、十分洗浄、消毒するとともに、衛生的に保管されているか。また、破損等があるときは速やかに補修しているか。							
	9	機械器具は、用途に応じて適切に使用しているか。まな板、包丁等は使い分けているか。							
	10	手洗い設備は、石けん、消毒液、タオルペーパー等を備え、使用できる状態か。							
	11	冷蔵庫・冷凍庫内は清潔か。また、適切な温度(冷蔵庫10℃以下、冷凍庫-20℃以下)が保たれているか。							
使用水	12	水道水以外の水(井戸水等)を使用している場合は、水質検査を実施したか。							
	13	殺菌装置等が設置されている場合は、正常に作動しているか。							
防鼠虫	14	ネズミ、ゴキブリ等の侵入、発生はないか。侵入、発生している場合は駆除等の対策を実施しているか。							
廃棄物	15	廃棄物容器は、汚液、汚臭が漏れないよう清潔にしているか。							
	16	廃棄物を、食品を取扱い、保存する場所に保管していないか。							
従事者の衛生管理	17	定期的に健康診断(検便等)を受けているか。							
	18	下痢・嘔吐・発熱または手指に化膿創のある者が直接食品に触れる業務に従事していないか。							
	19	清潔な作業着、帽子、履物を着用し、必要に応じてマスク、手袋をしているか。							
	20	爪を短く切り、作業前、用便後等は必ず手を洗っているか。							
原材料および食品の取扱い	21	衛生管理計画に基づき作業を実施し、記録しているか。							
	22	原材料の仕入れに当たっては、品質、表示等の点検を行った後、食品に適した温度で衛生的に保管しているか。							
	23	購入伝票等の保管を行っているか。							
	24	前日調理は避け、調理から提供までの時間ができるだけ短くなるようにしているか。							
	25	相互汚染のないよう取り扱っているか。							
	26	生で提供する野菜、果物等は十分洗浄し、必要に応じて殺菌しているか。							
	27	食品は、中心部まで十分加熱しているか。(75℃1分間以上)							
	28	十分に放冷した後、詰め合わせているか。							
	29	盛付時は、手袋を使用する等食品に直接手が触れないようにしているか。							
	30	容器には、製造所所在地、氏名、原材料名、消費期限、保存方法等定められた事項を表示しているか。							
	31	配送中は直射日光が当たらないようにし、適切に温度管理を行うこと。							
	32	検食は、適切に保管しているか。(各50g、-20℃以下、2週間以上)							
食品衛生責任者の印									

◆実行委員会や保健所等が行う衛生講習会を受講し、講習の内容に従事者に伝達すること。

◆提供した食品が原因と疑われる健康被害が発生した場合は、速やかに保健所に報告すること。

大会会場名：

食品衛生自主管理記録表 [臨時食品営業施設・無料食品提供施設]

大会期間中は毎日点検しましょう。

定時的に○、×のチェックを行い、×の項目はすぐに改善しましょう。(○良好、×不良)

点 検 項 目		点 検 月 日						メモ
		/	/	/	/	/	/	
品目	1	取扱品目は、事前に許可または届出をしたとおりか。						
施設の管理	2	清潔な場所に設置されているか。						
	3	テント張等で防塵・防水措置をし、日光が直接、食品に当たらないようになっているか。						
	4	消毒液を備えた流水式の手洗い設備が施設内または隣接した場所に設置されているか。						
	5	保存基準のある食品を取り扱う場合は、温度計のある冷蔵設備を設けているか。						
原材料および食品の取扱い	6	下処理は、営業許可施設等食品を衛生的に取り扱える専用の場所で行っているか。						
	7	原材料の運搬は、衛生的な蓋付き容器等に入れ、必要に応じて冷蔵設備を使用しているか。						
	8	食品は、中心部まで十分加熱しているか。(75℃1分以上)						
	9	未加熱の野菜、果物、肉類、魚介類、卵および乳類を提供していないか。						
	10	卵は割り置きせず、直前に割卵しているか。						
	11	必要以上に作り置きせず、調理後、速やかに提供しているか。						
	12	容器は使い捨ての衛生的なものを使用しているか。						
	13	食品の取扱いは、直射日光が当たらないようにし、適切に温度調整を行っているか。						
従事者の衛生管理	14	清潔な衣服、帽子を着用し、必要に応じてマスク、手袋をしているか。						
	15	爪を短く切り、作業前、用便後等に手の洗浄消毒を行っているか。						
	16	下痢・嘔吐・発熱または手指に化膿創のある者が直接食品に触れる業務に従事していないか。						
	17	調理従事者は、検便検査を受けているか。						
廃棄物	18	廃棄物容器は、蓋付きで清潔か。						
	19	廃棄物は、食品や容器等を汚染するおそれのない場所に保管されているか。						
管理責任者の印								

◆実行委員会や保健所等が行う衛生講習会を受講し、講習の内容を従事者に伝達すること。

◆提供した食品が原因と疑われる健康被害が発生した場合は、速やかに保健所に報告すること。

大会会場名：

食品衛生自主管理記録表 [弁当引換所]

大会期間中は毎日点検しましょう。

定時的に○、×のチェックを行い、×の項目はすぐに改善しましょう。(○良好、×不良)

点検項目		点検月日						メモ
		/	/	/	/	/	/	
施設の管理	1	清潔な場所に設置されているか。						
	2	テント張等で防塵・防水措置をし、日光が直接、食品に当たらないようになっているか。						
	3	消毒液を備えた流水式の手洗い設備が施設内または隣接した場所に設置されているか。						
	4	弁当を保管するための冷蔵設備(冷蔵車等)はあるか。						
弁当の取扱い	5	購入伝票等の保管を行っているか。						
	6	弁当は、冷蔵設備で保管しているか。						
	7	冷蔵設備内の温度は、10℃以下になっているか。						
	8	弁当は、直接床面に接しないように保管されているか。						
	9	弁当の引換時間は守られているか。						
	10	消費期限を過ぎた弁当は、廃棄しているか。						
早期喫食	11	引換時に、早期喫食を呼びかけているか。						
	12	早期喫食を呼びかける看板等を設置しているか。						
記録	13	弁当の引換記録表に基づき、納品時刻、庫内温度、納品個数、製造者等を記録しているか。						
従事者の衛生管理	14	清潔な衣服、帽子を着用し、必要に応じてマスク、手袋をしているか。						
	15	爪を短く切り、作業前、用便後等に手の洗浄消毒を行っているか。						
	16	下痢・嘔吐・発熱または手指に化膿創のある者が直接食品に触れる業務に従事していないか。						
	17	調理従事者は、検便検査を受けているか。						
廃棄物	18	廃棄物容器は、蓋付きで清潔か。						
	19	廃棄物は、食品や容器等を汚染するおそれのない場所に保管されているか。						
管理衛生責任者の印								

◆保健所が行う講習会を受講し、講習の内容に従事者に伝達すること。

◆提供した食品が原因と疑われる健康被害が発生した場合は、速やかに保健所に報告すること。

衛生管理記録票

品名	
製造年月日	年 月 日
消費期限	年 月 日 時
調理予定数	個
調理数量	個

作業開始時間	:
作業終了時間	:

○冷蔵庫・冷凍庫の温度管理記録(冷蔵庫10℃以下、冷凍庫-20℃以下)

	冷蔵庫1	冷蔵庫2	冷凍庫1	冷凍庫2	
作業前					
作業後					
実施者					

○使用水の検査記録

項目	結果	管理基準	実施者	水質検査
臭い		異常なし		◆検査実施日 月 日 ◆結果
味		異常なし		
色		異常なし		
にごり		異常なし		
異物		異常なし		
残留塩素		0.1mg/l以上		

○加熱食品の管理記録(加熱中心温度75℃以上、1分間以上)

品名					
中心温度	℃	℃	℃	℃	℃
加熱時間	分	分	分	分	分
放冷時間	分	分	分	分	分
実施者					

○非加熱食品の管理記録

品名					
冷蔵庫への搬入時刻	:	:	:	:	:
冷蔵庫からの搬出時刻	:	:	:	:	:
実施者					

従事者の健康状況

氏名()

◆各症状の有無に○を記載した上で、管理責任者に報告し、指示を仰ぎ対応措置を記載する。

項目 月日	嘔気・嘔吐		下痢・腹痛		発熱		手指の傷化膿創		家族感染症状		検便提出日と結果	食品衛生責任者 チエック	対応措置
	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無			
											◆検便提出日 月 日		
											◆結果:		

弁当の引換記録表

会場地: _____

競技名: _____

引換日: _____年 _____月 _____日

製造者	納品時刻	庫内温度(10℃以下)		納品個数	消費期限	引換時刻		引換個数	引換先	廃棄時刻	廃棄個数	責任者印
		納品時	引換直前			開始	終了					
	:	℃	℃			:	:			:		
	:	℃	℃			:	:			:		
	:	℃	℃			:	:			:		
	:	℃	℃			:	:			:		
	:	℃	℃			:	:			:		
	:	℃	℃			:	:			:		
	:	℃	℃			:	:			:		
	:	℃	℃			:	:			:		
	:	℃	℃			:	:			:		

※ 会場内の引換所1か所につき1枚で使用する。

※ 引換は〇〇時までとし、残った弁当は個数を記録し、廃棄すること。

食品提供施設に対する指導および検査

1 食品提供施設

(1) 営業宿泊施設の調理施設

両大会参加者を宿泊させ、当該宿泊者が喫食する食事を調理する施設

(2) 食事提供施設

両大会参加者が利用する営業宿泊施設において、施設内での食事提供ができない場合に斡旋する近隣の食事提供が可能な施設

(3) 仕出し料理調製施設

両大会参加者が宿泊施設等で喫食する仕出し料理(弁当)を調製する施設

(4) 弁当調製施設

両大会参加者が開・閉会式会場、競技・練習会場等で喫食する弁当を調製する施設

(5) 既設の食品営業施設

両大会会場内に既に設置され、食品の調理、加工若しくは製造または販売を行う施設

(6) 臨時の食品営業施設

両大会会場内に臨時的に設置され、食品の調理、加工若しくは製造または販売を行う施設

(7) 無料食品提供施設

ふるまいを目的として両大会会場内に臨時的に設置され、無償で飲食物を提供する施設

(8) 弁当引換所

両大会会場内に設置される弁当の引換所

2 食品衛生講習会

県委員会は、県生活衛生課および保健所と連携し、食品提供施設の営業者等を対象とした食品衛生講習会を実施する。また、会場地委員会においても、必要に応じて同様の講習会を実施することができる。

食品衛生講習会の内容については、別紙1「食品提供施設が遵守すべき事項」、食品衛生法に係る事項および食中毒の予防に関することとする。

3 立入調査

食品提供施設(1)～(5)を管轄する保健所等は、「施設調査票」(様式第1号)に基づき当該施設の立入調査を実施し、不備な事項があれば改善指導およびその履行確認を行う。

特に、弁当調製施設等危害度の高い施設または衛生管理に不備が認められる施設については、次の4、5の検査結果に基づき、食品衛生指導を重ねる。

4 施設の拭き取り検査

保健所は、1 食品提供施設(1)～(5)について、ATP 簡易測定器等を用いて拭き取り検査を実施し、その結果に基づき効果的に指導する。拭き取りは、包丁、まな板、冷蔵庫内、冷蔵庫取っ手、給水栓、スイッチ、ドアノブ(トイレを含む)等、主に食品または手指が直接触れる箇所を対象とし、衛生管理状況等施設の状況に応じた検査を行う。検査結果および結果に基づく指導事項は、「ATP 検査結果」(様式第2号)

に記録する。洗浄後の汚染度が高い箇所については、適切な方法により洗浄後、再検査を行う。

5 食品検査

1 食品提供施設(3)、(4)の営業者(以下、各営業者)は、下記のとおり食品検査を実施し、その結果に基づき、必要に応じて保健所の指導を受ける。

(1)対象食品

両大会期間中に提供される弁当・仕出し料理の副食(2品以上)

(2)時期

令和7(2025)年 4月～6月

(3)費用

各営業者で負担するものとする。

(4)項目および判定

「滋賀県食品衛生指導基準および検査結果に基づく指導要綱」に基づき、次の検査項目および判定基準とする。

検査食品	検査項目	判定基準
卵焼、フライ等の加熱処理したもの	細菌数(生菌数)	検体1gにつき 100,000 以下であること
	大腸菌	陰性であること
	黄色ブドウ球菌	陰性であること
サラダ、生野菜等の未加熱処理のもの	細菌数(生菌数)	検体1gにつき 1,000,000 以下であること

(5)措置

- ア 各営業者は、(4)の判定結果について、県実行委員会または県実行委員会が指定する者に報告する。
- イ (4)の判定結果が基準を超えた場合、各営業者は、上記の報告に加えて管轄する保健所に相談する。
保健所は、当該施設の立入調査を実施し、原因究明および再発防止を指導する。
- ウ 各営業者は再発防止対策実施後、その効果を確認するため、再度の食品検査を実施し、判定結果について、県実行委員会または県実行委員会が指定する者に報告する。

施設調査票

No.1

調査年月日	令和 年 月 日	調査者	
施設の名称		対応者	
施設の所在地	TEL		
業 種			
調理従事者数	人		
使用水	使用水の種類	上水道・簡易水道・専用水道・井戸水・その他()	
	滅菌装置	有・無	滅菌装置 維持管理状況
	遊離残留塩素濃度	mg/L(使用水の種類にかかわらず測定)	
厨房内	手洗い設備		
	清掃状況		
	そ族昆虫対策 (生息・侵入防止・駆除)		
冷蔵庫・冷凍庫	庫内温度		
	衛生状態		
	食品毎の区分		
調理器具類	洗浄消毒方法		
	保管方法		
廃棄物	調理場内保管		
	排出経路		

	実施日	食品名	検査結果			
			一般細菌数	大腸菌群	黄色ブドウ球菌	判定
自主検査						適・不適
						適・不適
						適・不適
						適・不適
						適・不適
	調理従事者の検便	実施日：令和 年 月 日 実施人数： 人 結果：適 人、不適 人 (不適内容)				
検食	保管状況 (量・日数等)					
その他の確認・指示						
履行確認						

ATP検査結果

施設名 _____

① ATP測定結果						
実施日	実施箇所	1回目測定		改善策	2回目測定	
/	(例)まな板	700	B	再洗浄	300	A
/						
/						
/						
/						
/						
/						
/						
② 検査結果に基づく指導事項等						

ATP拭き取り検査判定基準(参考)

検査場所	管理基準値(RLU)			拭き取り方法
	合格A	要注意B	不合格C	
手 指	<1,500	1500~3000	>3,000	手のひら縦横、指の間、指先など
ま な 板	<500	500~1000	>1,000	中央付近 10cm四方
包 丁	<200	200~400	>400	刃の両面、持ち手と刃の継ぎ目
調 理 台	<200	200~400	>400	表面5箇所の 10cm四方
バ ッ ト	<200	200~400	>400	汚れが残りやすい角部分
冷蔵庫取っ手	<200	200~400	>400	取っ手全体の内側外側

※ 平滑なもの(スルス、ガラス等):200RLU 凸凹のあるもの傷つきやすいもの:500RLU

拭き取りは、洗浄後、消毒・殺菌前に行うこと。

拭き取りは、綿棒が軽くしなる程度の一定の圧力により行うこと。

数値は、A(合格)、B(要注意)、C(不合格)の3段階で判定すること。

判定がBまたはCの場合は、再洗浄等を指導後、再度測定を行うこと。

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 宿舎衛生対策実施要領(案)

1 趣旨

この実施要領は、「第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 環境衛生対策要項」に基づき、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会(以下「県委員会」という。)および会場地市町実行委員会(以下、「会場地委員会」という。)が相互に連携を図り、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ(以下「両大会」という。)における宿舎衛生を確保することを目的とする。

2 実施内容

(1) 営業宿泊施設の宿舎衛生対策

ア 営業宿泊施設の把握

県委員会は、令和6(2024)年9月末日までに、大会参加者が利用する営業宿泊施設について、「営業宿泊施設利用予定報告書」(様式第1号)を作成し、両大会参加者が利用する旅館業法により許可を受けている施設(以下、「営業宿泊施設」という。)の利用予定を把握する。

(ア) 県委員会は、「営業宿泊施設利用予定書」を、滋賀県健康医療福祉部生活衛生課(以下、「県生活衛生課」という。)または大津市保健所へ提出する。(それ以降に追加・変更した場合には、速やかに提出する。)

(イ) 県生活衛生課は該当保健所(大津市保健所を除く。)へ振り分ける。

イ 衛生上の措置基準

営業宿泊施設における衛生上の措置基準は、旅館業法関係法令に基づく衛生措置基準および構造設備基準とする。

ウ 監視・指導

県生活衛生課および保健所は、県委員会および会場地委員会と連携し、以下のとおり営業宿泊施設の監視・指導を行う。

なお、各年度において、対象施設の把握以前に既に必要な指導を実施していた場合は、把握後に改めて指導することを要しない。

(ア) 保健所は、原則として両大会開催までに、「宿舎衛生措置基準確認票」(別紙1)により旅館業法関係法令に基づく監視・指導を行い、指摘事項がある場合には「環境衛生監視指導票」(別紙2)を営業者に交付する。また、循環ろ過式の浴槽を有する施設には、併せてレジオネラ症防止対策について立入りでの指導を実施する。なお、両大会期間中は、営業宿泊施設の衛生水準を勘案し、必要に応じて更なる監視・指導を行う。

(イ) 県委員会は、「営業宿泊施設利用予定報告書」に、県外に所在する営業宿泊施設が含まれる場合、当該施設が所在する自治体に対し、衛生指導を依頼する。

エ 宿舍衛生講習会

県委員会は、保健所と連携し、次により宿舍衛生講習会を実施する。また、会場地委員会においても、必要に応じて同様の講習会を実施するものとする。なお、感染症予防を目的とした講習会や食品衛生講習会と併せて実施することができる。

(ア) 講習の内容

- a 施設内および施設周辺の清掃と衛生害虫等の対策
- b 客室、浴室、脱衣所、便所、洗面所等の衛生管理
- c 入浴施設におけるレジオネラ症防止対策
- d 寝具等の衛生的な管理について
- e 給水、換気および排水設備の衛生管理および適正なごみ処理

(イ) 受講対象者

両大会参加者が宿泊する営業宿泊施設の営業者または管理者

(ウ) 講習の実施方法

令和6(2024)年度から両大会開催前までに、上記受講対象者が1回以上受講できるよう、日程および会場の調整を行い、計画的かつ効果的に実施する。なお、県委員会および会場地委員会が主催する宿泊施設説明会等と上記講習会を併せて実施するなど、計画的かつ効果的に実施する。

(2) 転用施設等の宿舍衛生対策

ア 転用施設等の把握

県委員会は、以下のとおり両大会参加者が利用する転用施設等を把握する。

(ア) 会場地委員会は、「第79回国民スポーツ大会 宿泊施設充足対策要項」に基づき、転用施設等を使用する場合には、「転用施設等使用届出書(様式第2号)」を令和6(2024)年3月末までに県委員会に提出する。(それ以降に追加・変更した場合には、速やかに提出する。)

(イ) 県委員会は同届出書をまとめて県生活衛生課へ送付し、県生活衛生課が各該当保健所へ振り分ける。

イ 衛生上の措置基準

転用施設等における衛生上の措置基準は、「転用施設等における留意事項」(別紙3)を適用する。

ウ 監視・指導

(ア) 保健所は、衛生上の措置基準として、別紙「転用施設等における留意事項」に基づき、会場地委員会および市町担当課を指導する。

(イ) 会場地委員会および市町担当課は、別紙「転用施設等における留意事項」に基づき、転用施設等に対し、衛生水準の保持に努めさせる。

(ウ) 保健所が必要と認める時は、保健所が転用施設等を指導する。

エ 宿舎衛生講習会

会場地委員会は、2(1)エの宿舎衛生講習会に準じた宿舎衛生講習会を実施する。また、保健所は会場地委員会から講習会の協力要請があった場合は、県生活衛生課と連携して対応するものとする。

3 実施報告

(1) 宿舎衛生講習会

会場地委員会は、この実施要領に基づく宿舎衛生講習会を実施した場合、「宿舎衛生講習会実施報告書」(様式第3号)により、令和6(2024)年度末までの実施結果については令和7(2025)年3月末日までに、それ以降については実施後速やかに、県委員会に報告する。

県委員会は、県委員会実施分と上記報告を合わせて、速やかに県生活衛生課に情報提供するものとする。

(2) 宿舎衛生監視指導

保健所(大津市保健所を除く。)は、この実施要領に基づく宿舎衛生監視指導の実施結果について、「宿舎衛生監視・指導実施報告書」(様式第4号)により、令和6(2024)年度末までの実施結果については令和7(2025)年3月末日までに、それ以降については実施後速やかに県生活衛生課に報告する。

県生活衛生課および大津市保健所は、上記実施報告を速やかに県委員会に情報提供するものとする。

4 その他

この実施要領に定めるもののほか、必要な事項は県委員会、県生活衛生課および大津市保健所が協議の上、別に定めるものとする。

保健所長 様

実行委員会事務局長

営業宿泊施設利用予定報告書

<対象となる大会の区分>

わたSHIGA輝<国スポ
わたSHIGA輝<障スポ

※外注:他の施設に食事を注文し、宿泊者に提供
外注先が分かれば施設名を記入

番号	営業宿泊施設名	許可番号	施設所在地		電話番号 (FAX番号)	利用期間		宿泊予定人員 (1日あたり最大 宿泊人数)	食事の外注※ (外注先)	監視・指導日 備考※
			(県名) 市町村	字名 番地		月 日 () ~ 月 日 ()	日 ()			
1						() ~ ()	()	人 (人)		
2						() ~ ()	()	人 (人)		
3						() ~ ()	()	人 (人)		
4						() ~ ()	()	人 (人)		
5						() ~ ()	()	人 (人)		
6						() ~ ()	()	人 (人)		
7						() ~ ()	()	人 (人)		
8						() ~ ()	()	人 (人)		
9						() ~ ()	()	人 (人)		
10						() ~ ()	()	人 (人)		
11						() ~ ()	()	人 (人)		
12						() ~ ()	()	人 (人)		
13						() ~ ()	()	人 (人)		

※保健所欄

転用施設等使用届出書

整理番号	所在地		使用施設				使用期間	建築物の構造 木造・鉄筋等	建物 (m) 延床面積	前人数 (人)	宿泊に使用する密室			使用水 (※1)		浴室			洗面所の有無			便所			密室内の消毒する部品の名称等	備考	
	名称等	(市町 字名 番地)	電話番号 (責任者連絡先)	FAX番号 (※2)	責任者の氏名	密室数 (室)					延床面積 (m ²)	寝具数 (組)	水道水/井戸水/その他	有無	面積 (m ²)	洗面器の有無	洗面器の材質	洗面器の有無	大 (器)	小 (器)	手洗 (器)	水洗・汲取	水洗・汲取	水洗・汲取			
1																											
2																											
3																											
4																											
5																											
6																											
7																											
8																											
9																											
10																											
11																											
12																											
13																											
14																											

※1 使用水の水道水で受水権がある場合は、当該受水権の有効期間が10m以上の簡易用水道に該当するときは、水道水の後に「簡易水」と、10m以下の小規模簡易水道に該当するときは、水道水の後に「小規模」と記入すること。

※2 FAXがある場合は番号を記入すること。

宿舎衛生講習会の実施報告書

実行委員会

整理番号	開催年月日	講習時間	講習会の名称	主催者	対象者	参加人数	開催場所	備考

宿舎衛生監視指導実施結果報告書

保健所

1 営業宿泊施設

種 別	宿舎として利用される 対象施設数	監視指導件数	備 考
ホテル・旅館			
簡易宿所			
計			

宿舍衛生措置基準確認票

施設名				
確認項目			確認欄	
施設	施設およびその周囲は、常に清潔に保っている。		<input type="checkbox"/>	
	衛生上有害な昆虫およびねずみの発生および侵入を防止し、必要に応じその駆除を行っている。		<input type="checkbox"/>	
寝具	布団および枕には、清潔な敷布、布団カバーおよび枕カバーを用いている。		<input type="checkbox"/>	
	寝衣、敷布、布団カバーおよび枕カバーは、宿泊者ごとに交換し、洗濯を行っている。		<input type="checkbox"/>	
	布団、枕、毛布等は、常に清潔に保ち、適当な方法により湿気を除いている。		<input type="checkbox"/>	
浴室	共同浴室は、使用中は浴槽を湯水で満たしている。		<input type="checkbox"/>	
	浴槽水ならびに給湯栓およびシャワー設備から供給される湯水は、清浄に保っている。		<input type="checkbox"/>	
	浴槽は、毎日完全に換水し、清掃している。 (ろ過器を使用して浴槽水を循環させる場合は、1週間に1回以上完全に換水し、浴槽の清掃および消毒を行っている。)		<input type="checkbox"/>	
	原湯を貯留する貯湯槽内の湯水は、摂氏 60 度以上の温度に保っている。 (または塩素系薬剤その他これと同等以上の消毒効果を有する方法により消毒を行っている。)		<input type="checkbox"/>	
	循環ろ過式浴槽	ろ過器は1週間に1回以上、逆洗浄等を行い、ろ材に付着した生物膜等の汚れを除去するとともに、内部の消毒を行っている。		<input type="checkbox"/>
		浴槽水を循環させるための配管は、必要に応じて清掃および消毒を行っている。		<input type="checkbox"/>
		浴槽水は塩素系薬剤により消毒を行い、遊離残留塩素濃度が1リットルにつき 0.2 ミリグラム以上になるよう保ち、レジオネラ属菌が検出されない水質を維持している。 (または塩素系薬剤による消毒とその他の方法による消毒を併用する方法等により、レジオネラ属菌が検出されない水質を維持している。)		<input type="checkbox"/>
		浴槽水については、1年に1回(気泡発生装置、ジェット噴射装置等微小な水粒を発生させる設備を設置する浴槽または屋外の浴槽内の湯水を循環させる場合は、1年に2回)以上レジオネラ属菌検査を定期的に行い、その結果を3年間保管している。		<input type="checkbox"/>
回収槽内の湯水は、浴用に供していない。(または、回収槽内の清掃および消毒を十分に行い、かつ、回収槽内の湯水を塩素系薬剤により消毒している。)		<input type="checkbox"/>		
他	洗面所には、飲用に適する湯または水を十分に供給している。		<input type="checkbox"/>	
	施設またはその部門ごとに、管理責任者を定めている。	管理責任者氏名：		
【保健所】	立入検査による確認を行った。		(いずれかに○)	
上記項目の確認方法	営業者による自主点検のうえ、電話・書面等による報告を受けた。			

確認年月日： 令和 年() 月 日

保健所 担当：

環境衛生監視指導票

施設の名称	施設の所在地
指導事項	
<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>	
<p style="text-align: center;">殿</p> <p>上記の事項を速やかに改善願います。</p> <p>なお、指導事項に対して講じる改善措置の内容等については、 年 月 日 までに文書により あて報告願います。</p> <p>年 月 日</p> <p style="text-align: center;">保健所 環境衛生監視員</p>	
<p>上記の事項について了承しました。</p> <p style="text-align: center;">立会人署名</p>	

転用施設等における留意事項

1 客室

- (1) 睡眠を妨げるような余分な光は入らないようにすること。
- (2) 換気に注意すること。特に昼間は、室内の空気の入れ換えを行うこと。
- (3) 毎日1回以上掃除すること。
- (4) くずかご等、日常生活に必要なものを用意すること。

2 寝具

- (1) 宿泊者数に応じて、必要な寝具を用意すること。
- (2) 寝具は清潔なものを提供すること。
- (3) 寝衣、敷布、布団カバーおよび枕カバーは、宿泊者ごとに交換し洗濯すること。
- (4) 布団、枕、毛布等は、常に清潔に保ち、風通しのよいところで日干しするなど適切な方法により湿気を除くこと。

3 洗面所

- (1) 毎日1回以上清掃すること。
- (2) 石けんや清潔なコップ等を必要に応じて用意すること。

4 便所

- (1) 専用の履き物を用意すること。
- (2) 用便後は石けん等による手洗い(洗面所等の利用)をすすめること。
- (3) 備え付けのタオルは、清潔なものを用意すること。(ペーパータオルが望ましい。)
- (4) 防虫、防臭に注意するとともに、常に清潔にしておくこと。
- (5) 毎日1回以上清掃すること。

5 浴室

- (1) 毎日1回以上清掃すること。
- (2) 入浴に必要な石けん、洗面器等を用意すること。
- (3) 浴槽水は原則毎日(または客室の使用ごとに)完全換水すること。
また、浴槽水については、レジオネラ属菌の検査を実施し、10cfu/100ml未満であることを確認すること。(大会開催前2か月以内に確認することが望ましい。)また、1週間に1回以上、浴槽等を消毒すること。

6 洗濯

宿泊者が洗濯できるように配慮すること。

7 宿泊者名簿

宿泊者名簿を備えること。

8 使用水関係

飲料水は水道水を使用すること。ただし、やむを得ず井戸水等を使用する場合は、以下の項目を実施すること。

- ア 飲料水水質検査を実施すること(検査項目:一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素および亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物(全有機炭素(TOC)量)、pH値、味、臭気、色度および濁度の10項目。大会開催前2か月以内に実施することが望ましい。)
- イ 水源およびその周辺を清潔にし、汚染防止に努めること。
- ウ 煮沸もしくは塩素滅菌等消毒を必ず実施すること。

9 その他

- (1) 施設内に、ねずみ、ハエ、蚊等が入らないように注意すること。
- (2) 建物の周囲を毎日清掃し、ごみ等の処理は適正に行うこと。
- (3) 施設ごとに衛生管理にあたる施設責任者を選任すること。
- (4) 大会期間中は、別表「宿舍衛生自主管理表」を作成し自主管理を徹底すること。
- (5) 犬、ねこ、その他ペット等による事故が起きないように適正な管理を行うこと。
- (6) 施設責任者は、県委員会が実施する宿舍衛生講習会等を必ず受講し、衛生意識の向上を図ること。
- (7) 施設運営従事者、宿泊者の健康状態を確認し、感染症の疑い(下痢、嘔吐等)があった場合には、消毒等必要な措置を講じ、速やかに管轄の保健所へ相談すること。
- (8) 転用施設等で調理した食品を提供しないこと(飲食店営業の許可を有する施設を除く。)

宿舎衛生自主管理表

★大会期間中は、毎日1回以上チェックしましょう。

★○、△、×のチェックを行い、△、×の項目はすぐに改善しましょう。[○=良好、△=不十分、×=不備]

施設名称および所在地		点検項目	点検月日										備考
客室	1	睡眠を妨げるような余分な光が入らないようにしているか。											
	2	換気に注意しているか。 特に昼間は、室内の空気の入換えを行っているか。											
	3	毎日1回以上は清掃しているか。											
	4	くずかご等、日常生活に必要なものを用意しているか。											
寝具	1	宿泊者数に応じて、必要な寝具を用意しているか。											
	2	寝具は清潔なものを提供しているか。											
	3	寝衣、敷布、布団カバーおよび枕カバーは、宿泊者ごとに交換し洗濯すること。											
	4	布団、枕、毛布等は、常に清潔に保ち、風通しのよいところで日干しするなど適切な方法により湿気を除くこと。											
洗面所	1	毎日1回以上は清掃しているか。											
	2	石けんや清潔なコップ等を必要に応じて用意しているか。											
便所	1	専用の履き物を用意しているか。											
	2	用後は石けん等による手洗いをすすめたか。											
	3	備え付けのタオルは、清潔にしているか。											
	4	防虫・防臭に注意し、清潔にしているか。											
	5	毎日1回以上は清掃しているか。											
浴室の管理	1	毎日1回以上は清掃しているか。											
	2	入浴に必要な石けん、洗面器具等を用意しているか。											
	3	浴槽水は毎日(または客室の使用ごとに)完全換水し、その都度浴槽を清掃しているか。											
	4	共同浴室の浴槽水の	使用期間前にレジオネラ属菌が10cfu/100ml未満であることを確認したか。										
	5		1週間に1回以上完全に換水し、浴槽等を消毒しているか。										
洗濯	1	宿泊者が洗濯できるよう配慮しているか。											
飲料水	1	水道水を使用しているか。											
	2	井戸水等を使用する場合	使用期間前に水質検査を実施したか。										
	3		水源およびその周辺を清潔にしているか。										
	4		煮沸、塩素滅菌等消毒して使用したか。										
施設責任者印(または署名)													

わたSHIGA輝く国スポの競技会会期

【正式・特別競技】

競技名		種別	開催日程(令和7年)	競技会場	開催形式
サッカー		少年女子	10月3日(金)~10月6日(月)	皇子山総合運動公園陸上競技場 伊香立公園芝生グラウンド 甲賀市水口スポーツの森陸上競技場	共同開催 (甲賀市)
テニス		全種別	9月29日(月)~10月2日(木)	大石緑地スポーツ村テニスコート	単独開催
ローイング (※ボート)		全種別	10月4日(土)~10月7日(火)	関西みらいローイングセンター (滋賀県立琵琶湖漕艇場)	単独開催
体操	競技	全種別	9月12日(金)~9月15日(月)	滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)	単独開催
	新体操	少年男子	9月6日(土)~9月7日(日)		
		少年女子	9月6日(土)~9月7日(日)		
トランポリン	男子 女子	9月9日(火)			
バスケットボール		成年男子	10月3日(金)~10月6日(月)	滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)	単独開催
		少年男子	10月3日(金)~10月7日(火)		
セーリング		全種別	9月28日(日)~10月1日(水)	大津市柳が崎特設セーリング会場	単独開催
フェンシング		全種別	9月29日(月)~10月2日(木)	ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)	単独開催
バドミントン		全種別	9月28日(日)~10月1日(水)	滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)	単独開催
ライフル射撃(25m)		成年男子	10月4日(土)~10月6日(月)	滋賀県警察学校射撃場	単独開催
カヌー	スラローム	成年男子	10月4日(土)~10月5日(日)	瀬田川特設カヌー競技場	単独開催
	ワイルド		10月3日(金)、10月6日(月)		
	ウォーター	成年女子			
空手道		全種別	10月5日(日)~10月7日(火)	ウカルちゃんアリーナ (滋賀県立体育館)	単独開催
〔特別競技〕 高等学校野球(硬式)		—	9月29日(月)~9月30日(火)、 10月2日(木)	マイネットスタジアム皇子山 (皇子山総合運動公園野球場)	単独開催

※2023年1月1日付で「ボート」から「ローイング」に競技名称が変わりました。

【デモンストレーションスポーツ】

競技名	開催日程(令和7年)	競技会場	開催形式
スポーツ拳法	未定	皇子が丘公園体育館	単独開催
ラジオ体操第3(初代・二代目)	未定	皇子が丘公園体育館	単独開催
百人一首競技かるた	未定	滋賀県立武道館	単独開催
スリースマイルゴルフ	未定	和邇市民運動広場グラウンド	単独開催

大津市開催競技（リハーサル大会）及び開催施設

【国民スポーツ大会】

競技名		大会名	実施時期（予定）	開催施設
サッカー		第60回全国社会人サッカー選手権大会	令和6年10月19日（土） ～10月21日（月）	・皇子山総合運動公園陸上競技場 ・伊香立公園芝生グラウンド ・甲賀市水ロスポートの森陸上競技場
テニス		第47回全日本都市対抗テニス大会	令和6年7月19日（金） ～7月21日（日）	大石緑地スポーツ村テニスコート
ローイング （※ボート）		第70回中日旗争奪びわ湖レガッタ	令和6年8月31日（土） ～9月1日（日）	関西みらいローイングセンター （滋賀県立琵琶湖漕艇場）
体操	競技	第78回近畿高等学校体操競技・新体操選手権大会	令和6年6月15日（土） ～6月16日（日）	滋賀ダイハツアリーナ （滋賀アリーナ）
	新体操	第78回近畿高等学校体操競技・新体操選手権大会	令和6年6月8日（土） ～6月9日（日）	
	トランポリン	第59回全日本学生トランポリン競技選手権大会（予定）	令和6年8月24日（土） ～8月25日（日）	
バスケットボール		第7回全日本社会人バスケットボール選手権大会 近畿ブロック予選	令和6年12月14日（土） ～12月15日（日）	滋賀ダイハツアリーナ （滋賀アリーナ）
セーリング		・高松宮妃記念杯第70回全日本実業団ヨット選手権大会 ・第24回全日本セーリングスピリッツ級選手権大会 ・2024年全日本セーリング選手権大会	令和6年9月14日（土） ～9月16日（祝・月）	大津市柳が崎特設セーリング会場
フェンシング		第77回全日本フェンシング選手権大会（団体戦）	令和6年12月20日（金） ～12月22日（日）	ウカルちゃんアリーナ （滋賀県立体育館）
バドミントン		バドミントンS/JリーグII 2024	令和6年11月14日（木） ～11月17日（日）	滋賀ダイハツアリーナ （滋賀アリーナ）
ライフル射撃（25m）		令和6年度全国センター・ファイア・ピストル射撃競技大会兼わた SHIGA 輝く国スポライフル射撃（25m）競技リハーサル大会	令和6年9月15日（日） ～9月16日（祝・月）	滋賀県警察学校射撃場
カヌー （スラローム、 ワイルドウォーター）		わた SHIGA 輝く国スポカヌー競技リハーサル大会（カヌースラローム・ワイルドウォーター）	令和6年10月26日（土） ～10月27日（日）	瀬田川特設カヌー競技場
空手道		令和6年度滋賀県民総スポーツの祭典 第77回滋賀県民スポーツ大会の部 空手道競技	令和6年7月14日（日）	ウカルちゃんアリーナ （滋賀県立体育館）
〔特別競技〕 高等学校野球（硬式）		実施しない		

※2023年1月1日付で「ボート」から「ローイング」に競技名称が変わりました。